

学界情報

12th International Power Electronics and Motion Control Conference: EPE-PEMC 2006
August 30 - September 1, 2006, Grand Hotel Bernardin, Portoroz, Slovenia

2006年8月30日から9月1日までの3日間(8月29日にチュートリアル開催), EPE-PEMC 2006 がスロベニアのポルトロージュ (Portoroz) で開催された。General Chair はマリボル大学の Karel Jezernik 教授が務められた。EPE-PEMC は、西欧で開催される EPE と交互に隔年で東欧の持ち回りで開催され、今回で 12 回目を迎えるパワーエレクトロニクスとモーションコントロールに関する国際会議である。

論文投稿数は 460 件で 365 件が採択され、採択率は 79.3% であった。採択論文の内訳は Lecture が 165 件、Dialogue が 200 件であった。採択論文の国別内訳を表 1 に示す。日本からの投稿が最も多く、この分野における日本人研究者のアクティビティの高さがうかがえる。Lecture 論文は 36 セッションに配され(そのうち 14 セッションがオーガナイズドセッション), 6 会場で並行実施された。今回新しい試みとして、初日に再生エネルギー資源の効率的な利用に関する Round Table が、2 日目に Vendor Sessions が生まれ、注目を集めていた。

そして、下記の 3 件の Plenary 講演が各日 1 件ずつ行われた。

- Professor Frede Blaabjerg: "Power Electronics in Renewable Energy Systems"
- Professor Robert D. Lorenz: "Future Motor Drive Technology Issues and Their Evolution"
- Professor Atsuo Kawamura: "Future Power Electronics and Motion Electronics-SiC Choppers and Biped Robots"

いずれのテーマもパワーエレクトロニクス、モーションコントロールの最新の研究開発と将来展望に関する内容であり、多くの聴衆が耳を傾けていた。特に、最終日に行われた横浜国立大学の河村篤男教授によるご講演は、SiC デバイスを用いたパワーエレクトロニクス技術と二足歩行ロボット MARI-3 のモーションコントロール技術の両面から 10 年後の将来展望を議論する内容で、ワイヤレスインバータや

歩行動作により移動可能なバスをその一例として挙げられており、聴衆を惹き付けていた。

また、初日に Welcome Party, 2 日目にアドリア海に沈む美しい夕日を見ながらの Gala Dinner が行われ、研究に関する意見交換などが活発に行われ、大変盛況であった。筆者も議論の場に混ぜてもらったが、今後のブレークスルー技術を生み出していくためには各要素技術の単なる組み合わせではなく、例えばロボットのモーション制御に必要なパワーエレクトロニクス技術をデバイスレベルから考えていくような総合デザインが必要になるうとの意見が多かったように感じられた。

なお、今回の EPE-PEMC 2006 のより詳しい様子は下記ホームページに掲載中の写真が掲載されているのでご覧いただきたい。

ホームページ: <http://www.ro.feri.uni-mb.si/epe-pemc2006/>

次回の EPE 2007 は 9 月 2 日から 5 日の日程でデンマークのオールボー (Aalborg) にて開催される予定である。また、EPE-PEMC 2008 はポーランドのポズナン (Poznan) にて 9 月 1 日から 3 日の日程で開催が予定されており、3 ページから 5 ページのサマリーの締切は 2007 年 11 月 25 日となっている。今後、ますますのパワーエレクトロニクスとモーションコントロールの分野の発展を心より願い、多くの日本人研究者の参加を期待している。

桂 誠一郎 (長岡技術科学大学)
(平成 18 年 10 月 4 日受付)

表 1 採択論文の国別内訳 (単位: %)

Japan	8.5	Germany	5.5
Slovenia	7.9	Spain	5.2
United Kingdom	6.8	Italy	3.6
France	6.0	Austria	3.0
Poland	5.8	Czech Republic	3.0
China	5.8	Hungary	2.7



基調講演の様子 (横浜国立大学 河村教授)
(東京電機大学 横山智紀先生ご撮影)